

屋外彫刻再配置方針

①遊歩公園エリア

戦後、大分の街復興の象徴であった遊歩公園に、『滝廉太郎君像』を代表とする朝倉文夫作品をこの地に集め、現在の遊歩公園の状態を本来のより機能的な緑道の形態に整え、本市における屋外彫刻と都市公園の発祥地であることを印す場所とする。



1. 滝廉太郎君像
制作者：朝倉文夫
場所：遊歩公園
設置年月日：S25.10



2. みどりのかけ
制作者：朝倉文夫
場所：遊歩公園
設置年月日：S25.10



27. 姉妹
制作者：朝倉文夫
場所：遊歩公園
設置年月日：S58.4



10. 青年像
制作者：朝倉文夫
場所：大分駅前広場
設置年月日：S33.4

③総合公園など人通りの多い場所への彫刻ゾーン整備

彫刻のあるまちづくり事業(昭和54年度～平成4年度)によって郊外の交差点や植樹帯に設置され、間近では鑑賞できない作品に対し、市民の利用度が高い総合公園などへ作品を集約する。集められたこれらの作品は、市民の芸術振興のために起こした事業で制作されたものであること、郷土大分に所縁ある人たちによって制作されたものであることを示し、多くの人々が作品を鑑賞しながら散策できるエリアを設け、彫刻のある公園、あるいは彫刻のある道として作品の設置環境を整える。

(総合公園:平和市民公園,鶴崎スポーツパーク,南大分スポーツパーク,七瀬川自然公園等)



大分駅前広場

西洋文化の導入により繁栄した当時の事象を示す作品群は、大分の文化と歴史を物語るのにふさわしい文化遺産であることから、大分駅周辺の新たな都市空間に、大友宗麟公像を核として一堂に集め、市民も来訪者も大分の香りを自然に感じ取りながら、ゆっくりと鑑賞できる空間を創出する。



5. 育児院と牛乳の記念碑
制作者：円鏝勝三
場所：遊歩公園
設置年月日：S48.10



6. 西洋劇発祥記念碑
制作者：舟越保武
場所：遊歩公園
設置年月日：S49.10



7. 伊東ドン・マンショ像
制作者：北村西望
場所：遊歩公園
設置年月日：S50.10



4. 西洋医術発祥記念像
制作者：古賀忠雄
場所：遊歩公園
設置年月日：S47.10



9. 西洋音楽発祥記念碑
制作者：富永直樹
場所：県庁前広場
設置年月日：S46.10

②都心南北軸エリア

都心南北軸の再生によって、新たに生み出される都市空間が、大分らしい個性的な街並みとなり、南北に亘る都心軸が上野の森の美術館へとつながる連続性のある魅力的なアート空間を形成することを目的に、現在、中央通りに設置されている作品を中心に、特長ある街並み景観を創出するよう適所に再配置する。

また作品と設置場所の選定については歴史性や芸術性など、作品の特性を吟味し、新たに作品配置するエリアの設置意図を明確に示し、格調高い美術館へのアプローチに形付けるものを選択する。



41. 未央
制作者：溝口寛
場所：中央通り
(赤レンガ通り角)
設置年月日：H1.4



54. ラ・メール(海)
制作者：高田博厚
場所：中央通り
(赤レンガ館前)
設置年月日：S62.10



42. 湖の華
制作者：山田良定
場所：中央通り
(朝日生命ビル前)
設置年月日：H1.4



11. 健康美
制作者：北村西望
場所：大分駅前広場
設置年月日：S44.10



38. 美しき広場
制作者：富永直樹
場所：中央通り
(パルコ前)
設置年月日：S63.4



3. 健ちゃん
制作者：北村西望
場所：遊歩公園
設置年月日：S44.12



24. 大友宗麟
制作者：富永直樹
場所：大分駅前広場
設置年月日：S57.11



8. 聖万才ノザビル像
制作者：佐藤忠良
場所：大手公園
設置年月日：S44.12



13. 大友宗麟公
制作者：長谷秀雄
場所：城址公園
設置年月日：S44.3